

劳工の歌

曲：もと「遊撃隊の歌」の替え歌

詞：牟 漢章

我らはみな苦難の仲間、
去年の七月にみな一緒に遭難されて、ここまでにやってこられた。
我らはみな困窮者で苦しい人たちで、
炭坑に下りて石炭を掘って400日間になった。
あの暗い炭坑のなか、
至るところも苦勞して入り込まなければならない。
あの鞭に促されて、
屈辱や辛さを耐えながら苦役をやり続ける。
食べることも満足できなくて寒さにも耐えながら、
さらにあの野蛮な人たちに殴られ、罵られ、
体じゅうが痛く、涙もとめどなく流れて、
互いによく嘆きあったりする。
我らはみな中国人、
誰だって早くも祖国へ帰りたい。
いざ機会があれば、
我らは必ず彼らと戦ってみていこう。